

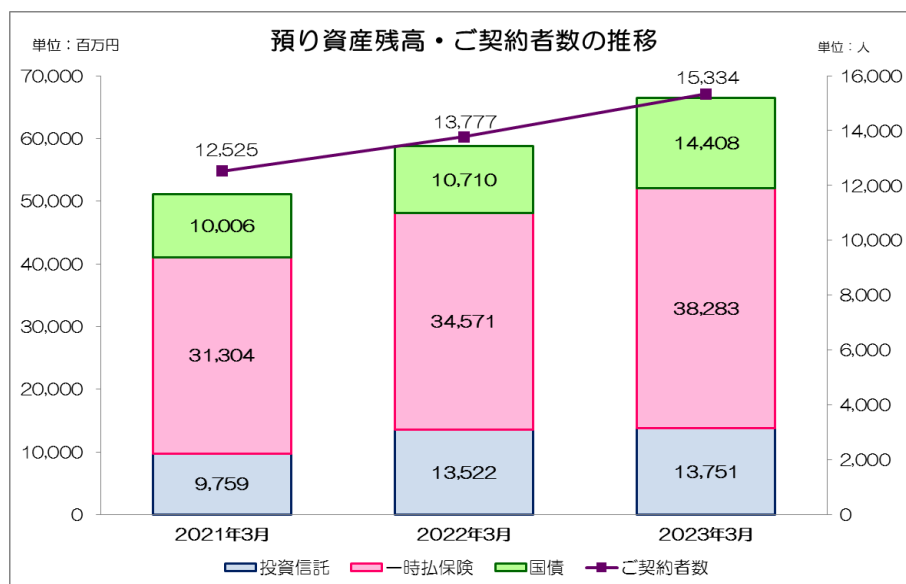
お客さま本位の業務運営に関する取組状況について

尼崎信用金庫では、2017年9月に「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定・公表し、お客さま本位の業務運営に向けた取組みを継続的に行っております。

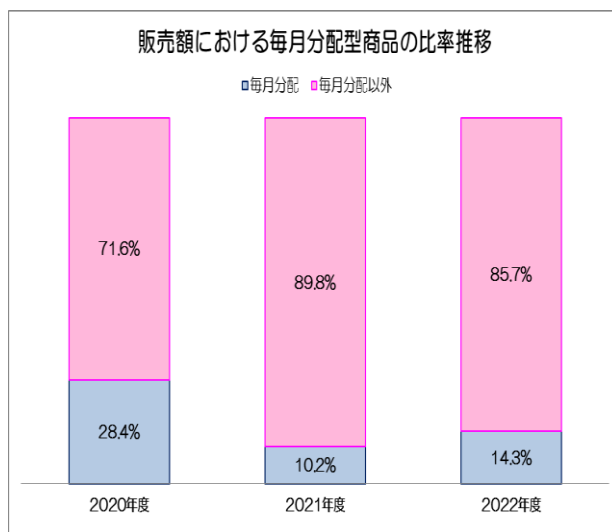
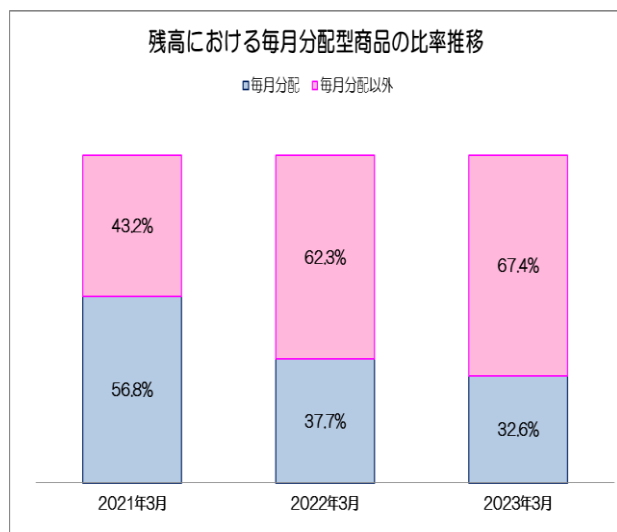
この度、2022年度の取組状況（成果指標：KPI）を公表いたします。
今後も定期的に公表するとともに随時見直してまいります。

I. 取組状況（自主的なKPI）

○預り資産残高・ご契約者数の推移



○投資信託残高・販売額における毎月分配型商品の比率



○預り資産販売 上位5商品（2022年度）

〈投資信託〉

商品名	投信会社名	投資対象	決算頻度	構成比
グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJ国際投信	海外株式	年2回	17.5%
しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信	国内株式	年2回	10.5%
しんきんJリートオープン（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信	国内リート	毎月	10.1%
新成長株ファンド	明治安田アセットマネジメント	国内株式	年1回	6.1%
京都・滋賀インデックスファンド	野村アセットマネジメント	国内株式	年1回	5.6%

〈生命保険〉

商品名	保険会社	種類	構成比
しんきんらいふ終身F S<無告知型>	フコクしんらい生命	終身保険	30.2%
プレミアカレンシー3（外貨建）	第一フロンティア生命	年金保険	14.9%
プレミアカレンシー3（円建）	第一フロンティア生命	年金保険	11.1%
プレミアレシーブ（外貨建）	第一フロンティア生命	終身保険	9.2%
プレミアプレゼント（円建）	第一フロンティア生命	終身保険	9.9%

○預り資産の商品ラインアップ（2023年3月末）

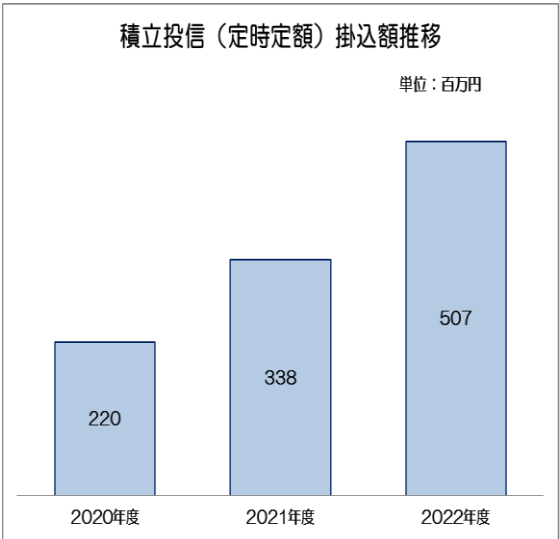
〈投資信託〉

商品カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
国内株式	9	20.0%
国内債券	3	6.7%
国内不動産	2	4.4%
海外株式	10	22.2%
海外債券	4	8.9%
海外不動産	2	4.4%
内外株式	6	13.3%
内外債券	-	-
内外不動産	-	-
バランス型	9	20.0%
合 計	45	100%

〈生命保険〉

商品カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
定額個人年金保険	3	20.0%
定額一時払い終身保険	7	46.7%
平準払終身保険	1	6.7%
医療・がん保険	4	26.7%
学資保険	-	-
合 計	15	100%

○積立投信（定時定額）掛込額推移



○資格取得状況（2023年3月末）

資格名	保有職員数	職員数に対する取得率
1級FP技能士	24名	1.8%
2級FP技能士	635名	47.7%
3級FP技能士	1,038名	78.0%

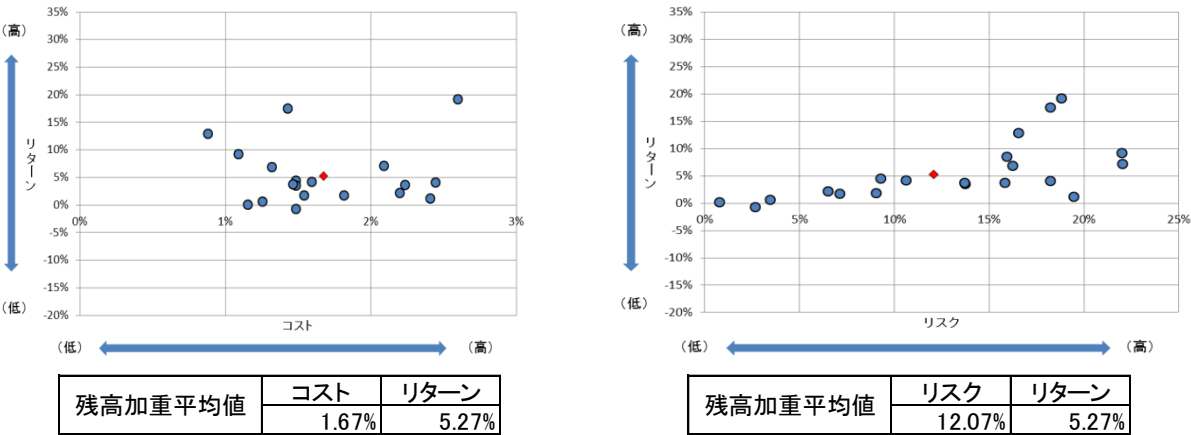
※延べ人数

【共通KPI(投資信託)】

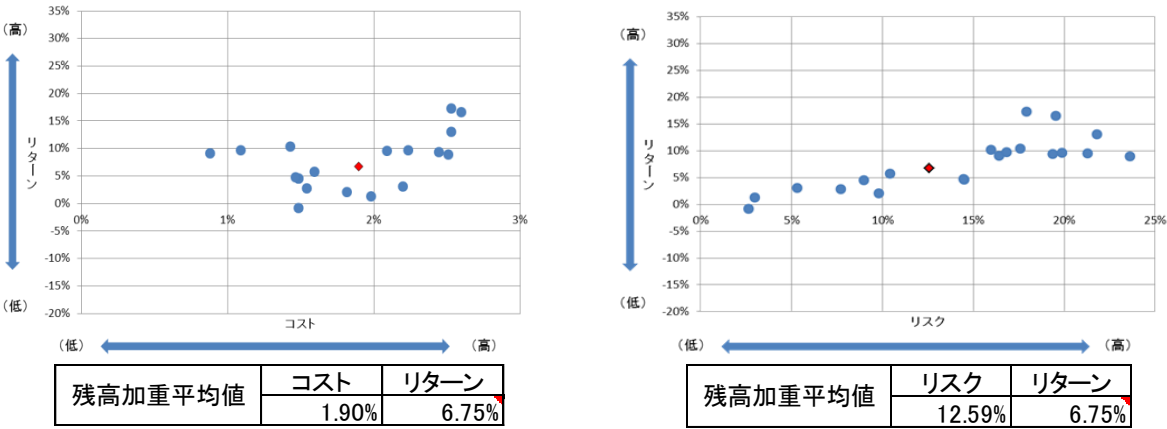
○投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
およびリスク・リターン

当金庫がお客様へ販売している投資信託のコスト・リターンおよび
リスク・リターンの平均値は、次のとおりです。
※投資信託の預り残高上位20銘柄（設定5年以上経過したファンド）が対象です。

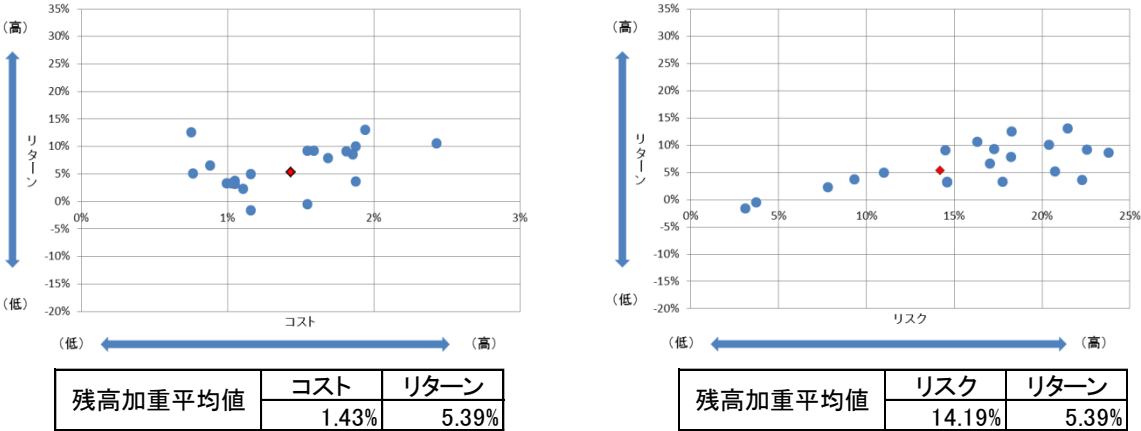
○2021年3月末 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン



○2022年3月末 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン



○2023年3月末 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン



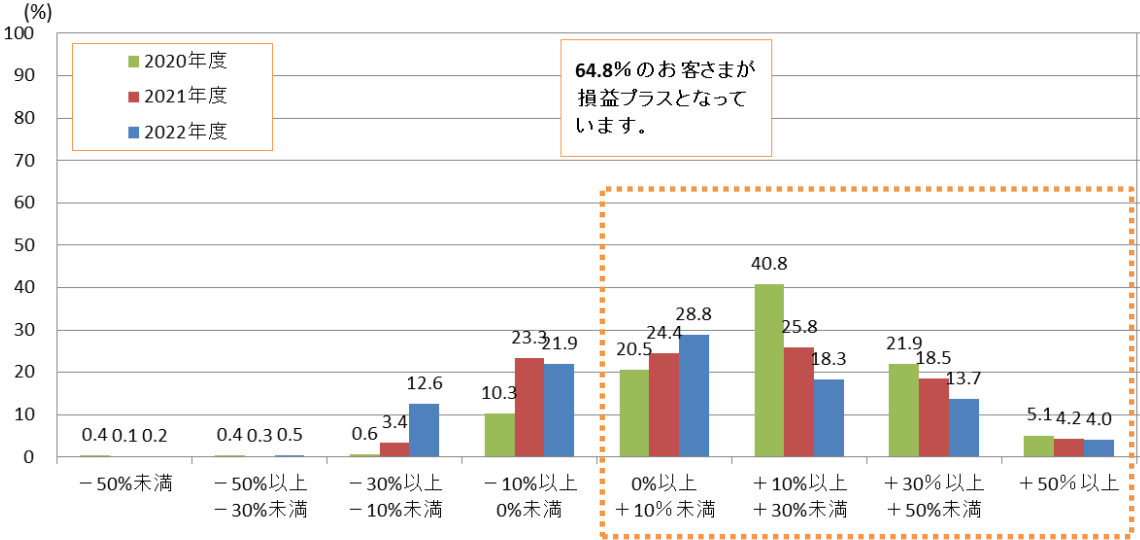
○投資信託の預り残高上位20銘柄

順位	銘柄名	コスト	リターン	リスク	順位	銘柄名	コスト	リターン	リスク
1位	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	1.05%	3.74%	9.31%	11位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	0.76%	5.16%	20.73%
2位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.43%	10.59%	16.30%	12位	新光US-REITオープン	1.69%	7.87%	18.22%
3位	投資のソムリエ	1.54%	-0.44%	3.72%	13位	AI（人工知能）活用型世界株ファンド	1.59%	9.27%	17.25%
4位	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	1.05%	3.17%	14.60%	14位	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	1.16%	4.97%	11.00%
5位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	6.60%	17.04%	15位	しんきんJリートオープン（1年決算型）	1.03%	3.32%	14.58%
6位	新成長株ファンド	1.88%	3.65%	22.27%	16位	しんきん世界アロケーションファンド	1.16%	-1.65%	3.12%
7位	DIAM高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	1.10%	2.31%	7.81%	17位	ダイワ・インド株ファンド	1.85%	8.58%	23.79%
8位	京都・滋賀インデックスファンド	0.99%	3.32%	17.76%	18位	ワールド・ビューティ・オープン（為替ヘッジなし）	1.81%	9.09%	14.48%
9位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	1.88%	10.03%	20.40%	19位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	0.75%	12.55%	18.26%
10位	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	1.94%	13.09%	21.45%	20位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	1.55%	9.24%	22.56%

○投資信託の運用損益別顧客比率

当金庫で投資信託を保有いただいているお客さまの運用状況について損益別の割合を表したものは次のとおりです。

ウクライナ情勢の悪化、原油・小麦等の資源価格高騰によるインフレ懸念等から市場環境が悪化し損益プラスのお客さまの比率は64.8%と昨年の72.9%から低下しています。



＜運用損益の算出方法＞

分子 ・基準日時点の「評価金額 + 累計受取分配金(税引後) + 累計売付金額 - 累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)」

・基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外

分母 ・基準日時点の評価金額

遡及期間 ・当該銘柄購入当初まで遡及

【共通KPI(外貨建保険)】

○外貨建一時払保険保有銘柄（契約開始後60ヵ月以上）のコスト・リターン

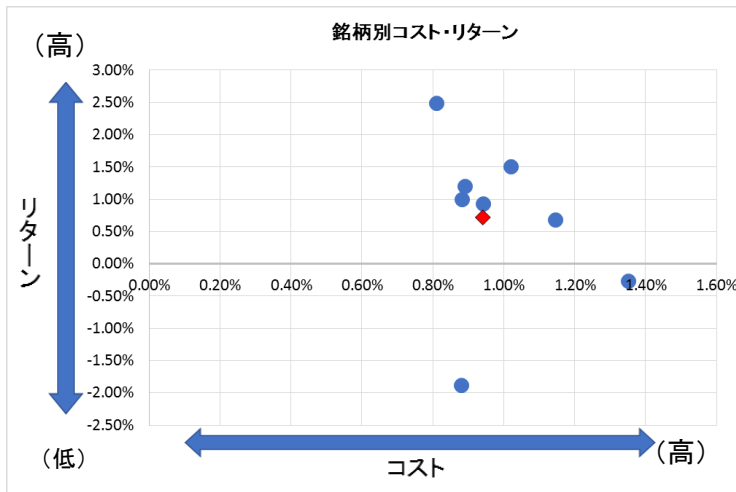
当金庫がお客さまへ販売した外貨建一時払保険のコスト・リターンの平均値は、次のとおりです。

※外貨建保険のコスト・リターンは過去5年間の実績を対象としており、当庫においては下記8商品の実績となります。

＜対象銘柄＞

商品名	保険会社	コスト	リターン
プレミアシーブ(外貨建)	第一フロンティア生命	0.88%	1.00%
プレミアジャンプ・年金(外貨建)	第一フロンティア生命	1.02%	1.51%
プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	第一フロンティア生命	1.15%	0.67%
プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	第一フロンティア生命	1.35%	-0.27%
プレミアプレゼント	第一フロンティア生命	0.89%	1.20%
ふるはーとJロードグローバル	住友生命	0.81%	2.49%
ダブルアカウントグローバル(米ドル建)	ソニー生命	0.94%	0.93%
ダブルアカウントグローバル(豪ドル建)	ソニー生命	0.88%	-1.88%
加重平均		0.94%	0.72%

○2023年3月末 コスト・リターン



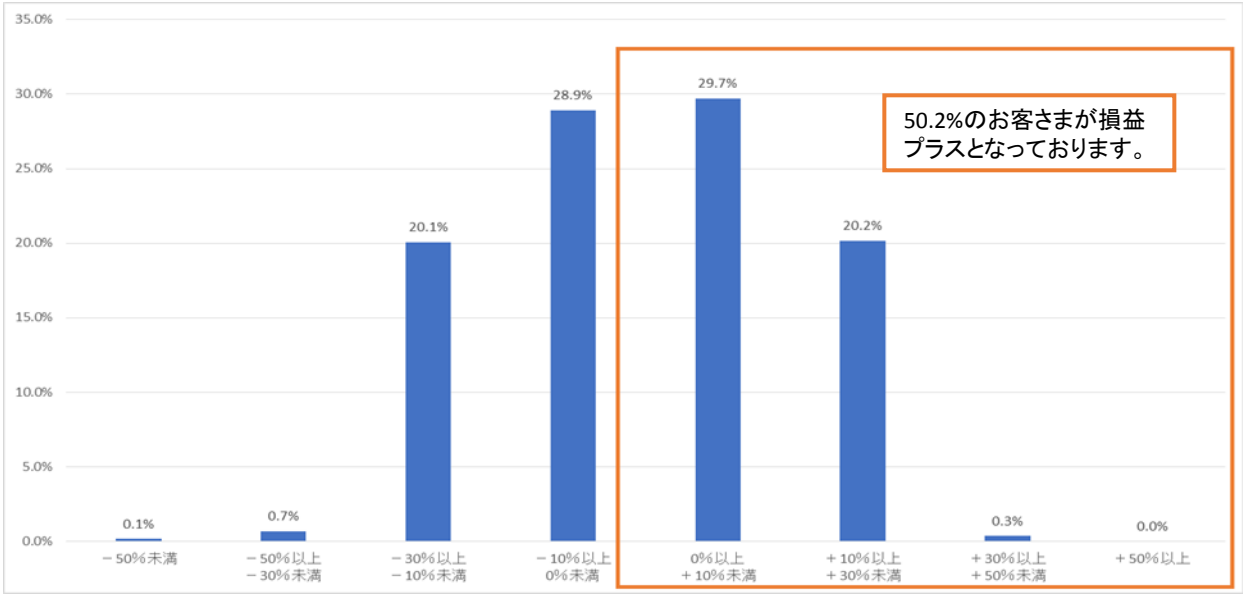
	コスト	リターン
残高加重平均値	0.94%	0.72%

＜コスト・リターンの算出について＞

- ・2023年3月末の時点で保険契約開始から60ヵ月以上が経過し、契約が存続している外貨建一時払保険8銘柄を対象として算出
- ・コスト算出にあたり、個別契約ごとに適用される手数料率を特定することが困難なため、各銘柄ごとに保険会社が算出して提供する新契約手数料率の平均値を適用して算出
- ・各契約のリターン率については、(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率に換算し、各契約のリターン率を各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出(全て円換算ベース)
- ・上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターンをお約束するものではありません。

○外貨建保険の運用損益別顧客比率

2023年3月31日時点において、当金庫で外貨建保険を保有いただいているお客さまの運用状況について損益別の割合を表したものは次のとおりです。50.2%のお客さまが損益プラスとなっております。



<運用損益の算出方法>

分子 ・基準時点の「解約返戻金額＋既支払金額－契約時点の一時払保険料(いずれも円換算)」
分母 ・契約時点の一時払保険料(円換算)

<保険の保障性について>

- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価は異なります。